

経営比較分析表（令和6年度決算）

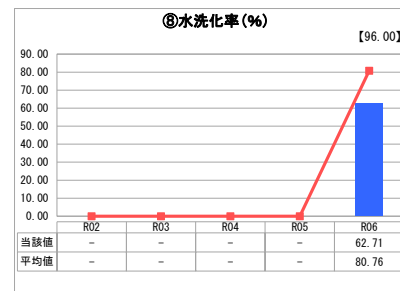
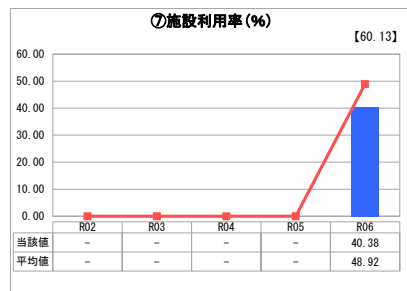
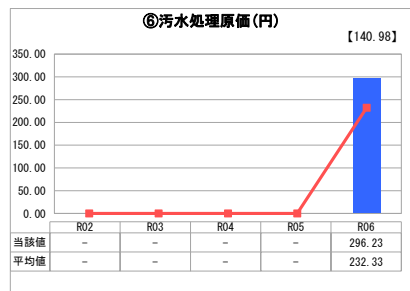
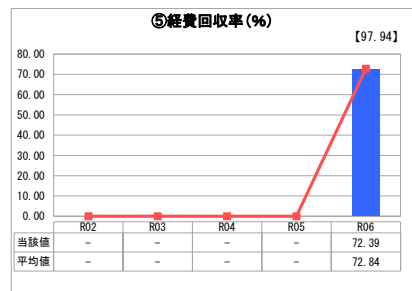
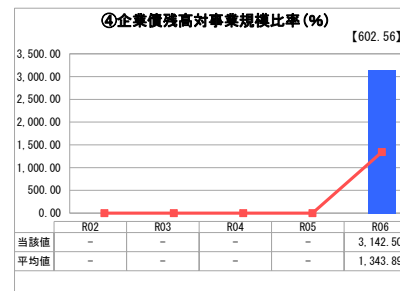
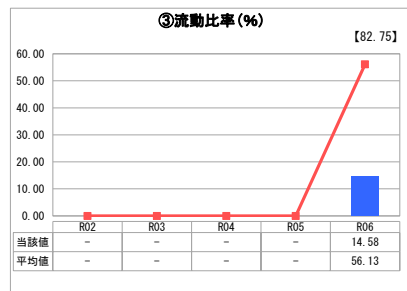
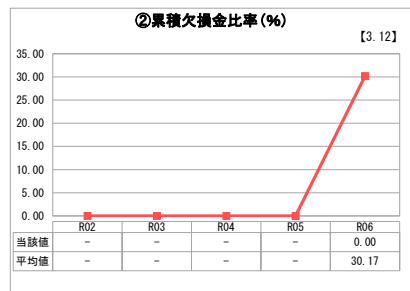
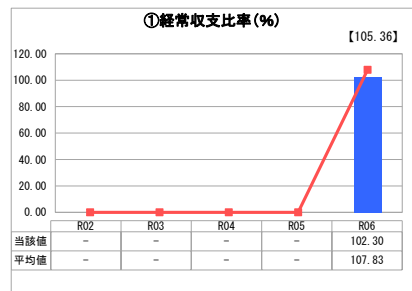
北海道 古平町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)
-	70.66	83.40	81.22	4,135

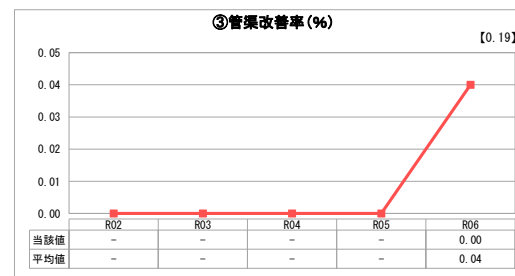
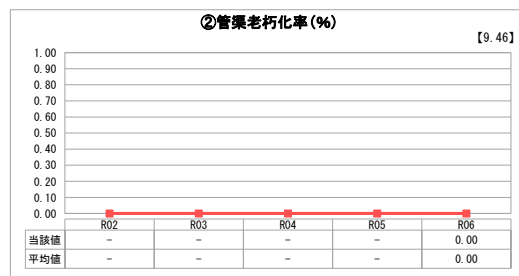
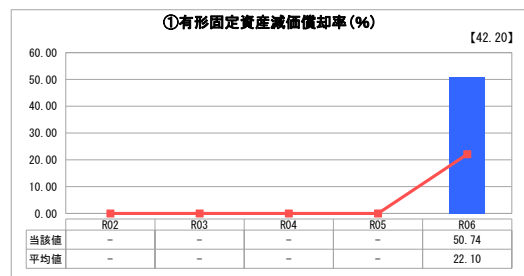
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
2,589	188.36	13.74
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
2,140	1.26	1,698.41

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率が100%を上回っており、累積欠損金比率は0%です。

しかし、一時借入金が大きく流動比率が低いこと、使用料収入のみでは企業債の償還を賚えないため、企業債残高対給水収益比率が高いこと、経費回収率は平均ですが、汚水処理費及び汚水処理原価は今後上昇していく見込みであること、人口減少等の影響により、一日平均配水量が低く、施設利用率が低いという状況です。

収入の大半を一般会計からの繰入に依存している状況で、将来的な未整備地区の整備や施設の老朽化に伴う更新事業に対応するには、厳しい財政状況であります。

今後も類似団体の平均値より低い水準となっている水洗化率の改善に努めなければなりません。

2. 老朽化の状況について

本町の下水道は平成16年に供用を開始し、最も古い施設では20年以上が経過しています。

今後は、「下水道ストックマネジメント計画」に基づき、施設の老朽化対策を実施する予定です。

全体総括

下水道事業の経営状況については、水洗化率の向上は多少期待できますが、将来的には人口減少による料金収入の減収が想定されます。

また、施設の老朽化に伴う維持管理費の増加、新たな更新費用が発生することも想定されます。

下水道ストックマネジメントに基づく計画的な修繕・更新を進めて、維持管理費の抑制に努めると共に、引き続き接続率の向上による料金収入の増加に努めていきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。